

なくそう核兵器 つないでつないで 東京から平和を お花見平和のつどい・2012 開催報告

日時：2012年4月7日（土）

会場：江東区夢の島 第五福竜丸展示館・エンジン前

参加人数：120名

主催：第五福竜丸から平和を発信する会 以下8団体

東京都地域婦人団体連盟、主婦連合会、東京都地域消費者団体連絡会、
日本青年団協議会、第五福竜丸平和協会、東京都原爆被害者団体協議会
(東友会)、原水爆禁止東京協議会、東京都生活協同組合連合会



熊野灘の海底から引き上げられた第五福竜丸のエンジンを、市民団体の手で和歌山から東京までリレーして第五福竜丸展示館前に設置し、船体とエンジンと一緒に12年。そのとき東京地婦連の発案で八重紅大島桜がエンジンの隣に植えられ、その翌年から毎年4月に「お花見平和のつどい」が行われています。昨年は中止となったため2年ぶりの開催となった今年は、花冷えとはいえお天気に恵まれ、親子の参加も含め多くの方が来場されました。

東京地婦連・端山澄子さんのご挨拶で始まり、館内での午前の部は「証言と映像でつづる『あの日』からいま」、エンジン前での午後の部は「ピースミュージック」と「あしたへの希望もとめて」。どのコーナーも発表者や各団体の思いのあふれるものとなりました。

「証言と映像でつづる『あの日』からいま」



太平洋戦争の中、子どもたちや女性がどんな暮らしをしていたかを語る東京地婦連のみなさん。



広島・長崎での原爆被害「あの日」について語る東京の原爆被爆者の団体・東友会のみなさん。



第五福竜丸が受けた被害と船体を保存してきた運動について語る第五福竜丸平和協会のみなさん。



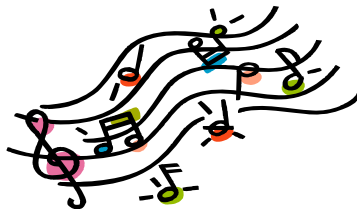
東京都生協連（全労済、東京南部生協、東都生協、パルシステム東京、コープとうきょう）、都地消連、東京原水協の活動報告は写真とナレーションで進みました。各団体の活発な活動が伝えられました。



育ちゆく八重紅大島桜を思い、みんな「花」を合唱しました。リードは加藤ひろあきさんと「お花見平和合唱団」のみなさん。

ピースミュージック

みんなでたのしくお食事タイム



午後一番は外のエンジン前で、加藤ひろあきさんの歌を聞きながらお食事タイム。加藤さんは毎年この催しで、思いのこもった歌と語りを披露してくれます。参加したみなさんは、お団子やかりんとうなども楽しみ、咲き初めた八重紅大島桜を愛でながら、交流のひとつときを過ごしました。

東都生協がお団子などを販売しました。

なくそう 核兵器 つないで つないで 東京から平和を
お花見平和のつどい2012
主催/第五福丸から平和を発信する連絡会 東京都地域人団体連盟 主催連合会 東京都生活協同組合連合会 東京都地域消費者団体連絡会
日本青年団協議会 第五福丸平和協会 東京都原爆被害者団体協議会(東京会) 原水爆禁止東京協議会



あしたへの希望もとめて



午後のメインは各団体からの活動紹介や今後に向けての発表。それぞれの団体が、核廃絶に向けてのさらなる活動の意欲と決意を語りました。

生協からはコープとうきょうの小倉さん親子が、ヒロシマ平和の旅の参加報告と日頃の平和への思いを伝えてくれました。

エンディング

会場の一角に設けられた折鶴コーナーの、皆さんの協力の様子が東京地婦連の稲葉良子さんより報告されました。

東京都地域消費者団体連絡会の寺田かつ子さんより閉会の挨拶の後、全員で「青い空は」を歌って終了しました。



ご協力いただいた折り鶴は、広島・長崎の平和式典に届けられます。

